

送り出し国の教育投資への移民の影響 —日系ブラジル人の日本へのデカセギを事例として—

国際協力学専攻 47086771 伊藤史治

指導教員 戸堂康之 准教授

キーワード：移民、日系ブラジル人、教育、人的資本

1、研究の背景と目的

1990年の「出入国管理及び難民認定法（以下、入管法と略す）」の改正により、日系人は日系三世までは日本で就労できるようになった。このため、南米諸国の日系人がデカセギのため来日している。デカセギによる南米現地の日系人社会への影響として、プラス面では送金が、マイナス面では少子高齢化や産業の停滞などが報告されている（パラグアイ日本人会連合会, 2007）。南米諸国の日系人社会において、デカセギが教育にも影響を与えていることは言及はされているものの、詳しく研究されてはいない。

移民によって送り出し国の教育投資に正負いずれの影響があるかに関する先行研究では、理論・実証の両面で結論は出していない。本研究では、日系人の日本へのデカセギを事例にして、移民によって送り出し国の教育に負の影響があることを検証する。

2、問題設定

本研究では対象をブラジルに絞る。日系ブラジル人が日本で従事する仕事は工場労働等の単純労働であるが、それによりブラジルでの所得の5~10倍の所得を稼ぐことが出来るという（Tsuda, 1999）。このような単純労働にはスキルや教育は必要ない。従来は、日系人は南米諸国においては大学に進学しなければ高い賃金を得ることが出来なかったが、入

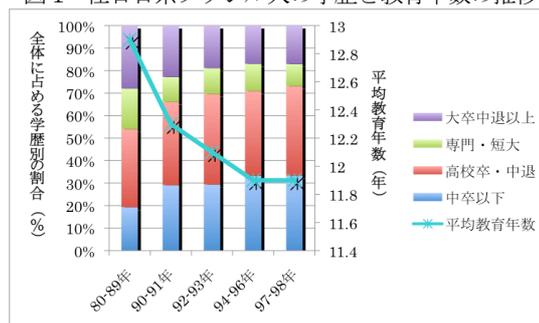
管法改正により教育レベルに関係なく日本で単純労働だが高賃金を得られる仕事に就労する機会が生まれた。南米諸国で大学を卒業して就職するよりも日本での就労の方が教育の費用は低く、便益は高い。教育年数は教育の便益と費用によって決定されると考えられるため、日本での就労の潜在的機会に直面した日系人は行動を変化させ、大学に進学するよりも日本へデカセギに行くという選択肢を選ぶことがあるのではないかと考える。つまり、彼らは日本での就労機会に直面したことにより高等教育を受けようというインセンティブが阻害されてしまっている可能性がある。本論文はこの仮説を検証するため、日系ブラジル人の大学進学率・教育年数の伸びが、1990年を境に鈍化、さらにはマイナスになっていることを示す。

3、検証

3.1 データによる検証

まず、日本における日系人の教育水準を見る。

図1 在日日系ブラジル人の学歴と教育年数の推移

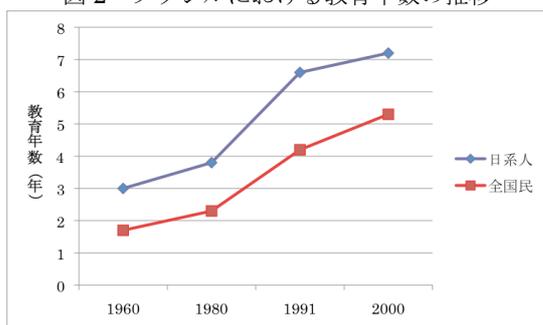


梶田（2005）より作成

在日の日系人の教育レベルは確かに低下していることが分かり仮説と整合的であるが、複数の原因が考えられる。

そのため、次に、既存のデータを用いてブラジルにおける日系人の教育レベルを見ると、入管法が改正された 1990 年を境に日系人の教育年数の伸びが鈍化していることが分かり、デカセギが教育投資の意思決定に影響を与えていることを浮き彫りにできた。

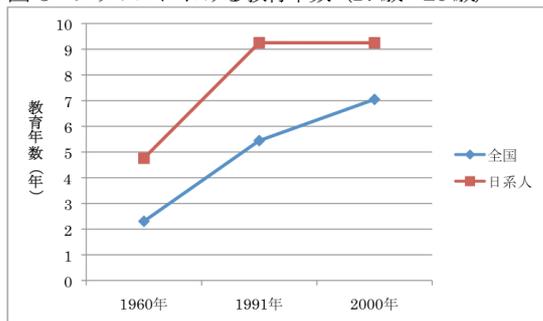
図 2 ブラジルにおける教育年数の推移



Beltrao et al(2008)より作成

既存のデータだけではいくつかの批判も考えられるので、本研究ではブラジル国勢調査のマイクロデータから、大学進学の意味決定時にデカセギが影響を与えているであろう若年層のみを抽出した。その結果は図 3 であり、教育年数は 1990 年代に伸びが鈍化しているどころかわずかだが年数自体が低下していることがわかった。全国民の若年層は同期間大きく伸びているので、教育年数の減少は日系人に特有のものであり、1990 年代という時期を考えると原因はデカセギであると結論付けることができる。

図 3 ブラジルにおける教育年数 (17 歳～20 歳)



ブラジル国勢調査 (各年) より作成

3.2 インタビューによる検証

インタビューからは、日本への来日機会に直面して教育戦略を変更した人の証言が得られ、データによる検証をケースで補強することができた。

4、結論

データとインタビューという 2 つの観点からの検証により、デカセギが日系ブラジル人の教育投資に負の影響を与えていると結論付けることができた。

5、参考文献

- Beltrão, Kaizô Iwakami, Sugahara, Sonoe, and Konta, Ryohei (2008), *Living in Brazil : characteristics of Japanese- Brazilian in Célia Sakurai, Magda Prates Coelho (eds.), Resistance & integration : 100 years of Japanese immigration in Brazil, IBGE.*
- Tsuda, Takeyuki (1999), *The Motivation to Migrate: The Ethnic and Sociocultural Constitution of the Japanese-Brazilian Return-Migration System, Economic Development and Cultural Change, Vol.48, pp.1-31.*
- 梶田孝道 (2005) 「一時滞在と定住神話の交錯—ブラジル人労働者の滞日見通しをめぐって—」梶田孝道・丹野清人・樋口直人『顔の見えない定住化 日系ブラジル人と国家・市場・移民ネットワーク』第10章、名古屋大学出版会
- パラグアイ日本人会連合会 (2007) 『パラグアイ日本人移住70年誌: 新たな日系社会の創造』パラグアイ日本人会連合会